

科目名称	哲学				ビジネス・キャリア	(○)	オフィス情報	(○)	
英文科目名称	Philosophy				グローバル・コミュニケーション	(○)	医療事務・医療秘書	(○)	
科目コード	511120	授業形態	講義	単位数	2				
教員氏名	長友 泰潤		年次配当	1年次	前期	ホテル・観光	(○)	大学編入	(○)
実務経験教員担当	有・ <input checked="" type="radio"/>		アクティブラーニング			有・ <input checked="" type="radio"/>			
授業概要及び授業方法	『哲学』とは何かという問いを出発点に、哲学発祥の一つであるギリシャと古代文明の関わりや哲学者達の思想と時代背景について説明していく。初心者でも理解しやすい哲学思想を取り上げ、哲学の基本的な考え方、基本用語についてわかりやすく解説する。また、学生が積極的に授業参加できるように、グループ学習のシステムを導入し、学生にギリシャの哲学者の中から一人を選ばせ、その思想や時代背景等について、図書館やインターネットで資料研究を行わせ、まとめたものを研究発表させ、それに対する質疑応答を行っていく。								
関連する科目	人間形成論				卒業認定(学習成果)との関連		①, ⑤		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 哲学は古代ギリシャにおいてどうして生まれたかについてわかりやすく説明する。 2. 学生がグループを作り、図書館や情報処理室で、どの哲学者をテーマとするか学習調査する。 3. グループ内で話し合い、テーマを絞り込んでいくと同時に、パワーポイントを準備する。 4. それぞれのグループが選んだテーマが重ならないように調整し、発表の準備をする。 5. イオニア学派(タレス・アナクシマンドロス・アナクシメネス)についての発表と解説 6. ピュタゴラス学派についての発表と解説 7. ヘラクレイトスについての発表と解説 8. エレア学派についての発表と解説 9. 多元論者についての発表と解説 10. 古代原子論についての発表と解説 11. ソフィストについての発表と解説 12. ソクラテスについての発表と解説 13. プラトンについての発表と解説 14. アリストテレスについての発表と解説 15. 取り上げた諸問題を総括 								
授業時間外の学習	<p>予習：プレゼンテーションの準備のために、図書館で倫理・道徳関連の書籍を検索読書し、必要な情報を集める。(60分程度) また、インターネットを活用し、関連する情報・資料を集め、検討を行う。以上の作業を続けながら、プレゼンテーションの内容を充実させる。(30分程度)</p> <p>復習：他のグループの行ったプレゼンテーションの問題点、評価すべき点を検討する。(60分程度) その検討をもとに自分たちのプレゼンへのフィードバックを行う。(30分程度)</p>								
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 哲学発祥の地ギリシャと古代文明の関わりや、哲学者たちの思想とその時代背景を理解する。 2. 哲学の基本的な発想や用語について理解を深める。 								
課題に対するフィードバック	各グループの発表後、質疑応答の内容に即して、それぞれの発表内容について、解説し、内容の評価を行う。				評価方法・基準		<p>評価方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プレゼンの発表内容・・・25点 2. プレゼンの仕方・・・25点 3. 質疑応答への参加度・・・50点 		
テキスト	必要に応じて資料等を配布する。								
参考書	必要に応じて資料等を配布する。								
備考									